

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

- | | |
|--|---|
| □「これからも地域や人と人との
つながりを大切に」…………… 1P | □第1回waiwai交流会
「市民活動センターを利用しているときに
地震が起こったら、あなたはどうする？」3P |
| □講演会「『自分ごと』から『社会ごと』へ
～男女共同参画の視点から考える～」・2P | □第2回「あいちの伝統野菜を学ぼう！」…3P |
| □毎月「通いの場」をハイブリッドにて開催・2P | □サポちたインフォメーション…………… 4P |

これからも地域や人と人とのつながりを大切に

(一財)非営利組織評価センター(以下、JCNE)によるNPOの信頼性を評価で応援する取り組みがスタートしています。今年8月時点、愛知県下にベーシックガバナンスチェックリスト団体が11団体、グッドガバナンス認証が2団体となりました。ぜひ、同封のチラシをご高覧ください。

JCNEの調査レポートによると、これまでのアドバンス評価から見えてきた実績を取りまとめた内容が示されています。今回は、調査対象団体が少なく、傾向を分析するまでに至らないということで非公開ではありますが、アドバンス評価被評価団体の特徴、アドバンス評価結果、グッドガバナンス評価結果のデータ集計結果が記載されています。また、JCNEがまとめたアドバンス評価は、「学びと創造」、「市民参加と連携・協働」、「社会的責任と信頼」、「自立と自律」の4領域が設定されています。これら定性的な分析結果は、事例として紹介されています。

この事例紹介には、4領域の中から「学びと創造」領域内「受益者本位の視点によるニーズの把握と改善」と「社会への情報発信と啓発活動」の2項目において、(N)りんりん(半田市)が最良事例として高い評価を得ています。当法人もまた、「自立と自律」領域内「事業運営」項目において、権利擁護をはじめ、子ども、介護、障害など広い視点での地域活動推進体制を高く評価されました。

私たちは、特定分野の専門性の維持・向上や、専門職としての待遇や利益を保持・改善するための組織ではなく、地域の実情に合わせ市民主導によるボトムアップ型のまちづくりを目指しています。素材として、4領域を遵守する組織の姿勢とともに、地域の実情にフィットできる柔軟性があることへの評価だと、嬉しく受け止めています。

また、今年度は、日本福祉大学地域ケア研究推進センター主催「住民主体の包括的支援体制の構築を目指した戦略～0歳から100歳のすべての人が安心して暮らせる地域づくりをめざして～」を推進する7つのプロジェクトがあります。

このうち、[D]専門職による多職種連携・職員研修、[E]福祉施設等のBCP、減災ネットワークの取組、[G]包括的支援体制の構築にむけた研究会の3つの事務局を担当させていただいております。

一例として、[D]プロジェクトより、いつまでも自分の足で歩くことの大切さを伝えようと看護師を中心に立ち上がった知多半島フットケアサポート会の取り組みを共有しました。これより見えた可能性と課題として、多職種・多業種、あるいは地域などが連携する際、それぞれの立場における視点の違いを乗り越えるには、機会を重ねて、相互理解を探索し続ける必要があります。これは、[E]や[G]においても同様で、「多職種研修」へのニーズは高まるばかりです。

人と人とのつながりを取り戻し、支え合って生きていくことができる仕組みを作り続け、安心を培っていこうと、私たちは「イカダ連帯型福祉サービス」(右図)と表現しています。詳細は、当法人ホームページアーカイブよりご参照ください。 市野恵



■知多市若者チャレンジ支援事業「第1回ちた未来塾」
知多市男女共同参画推進事業
『自分ごと』から『社会ごと』へ
～男女共同参画の視点から考える～

7月30日、第1回ちた未来塾（※1）、「『自分ごと』から『社会ごと』へ～男女共同参画の視点から考える～」を開催した。講師は、(N)参画プラ



講師の渋谷典子さん

ネット代表の渋谷典子さん。
この講座は、今年度、知多市男女共同参画行動計画（ウイズプランⅢ）の重点取組に「若者の社会参画の推進」を挙げていることから、知多市男女共同参画推進事業としても位置づけ、公開講座として、幅広い年代の方に参加してもらい、最近、少ないと言

われる「若者の社会参画」について考える機会とした。参画については、「何がしたいか」をつかみ、ニーズに合った参画の機会を提供する。自分にもできそうな予感がすれば、参画してみようと思う。友人や知人の誘いも、後押しになることなどが挙げられた。

また、ウイズプランⅢの20項目ある、男女共同参画についての取組の中で、どの3つが「自分ごと」として大切であるかを個人ワークで選び、それらを他の人と共有して、話し合うワークショップを行った。若者と年配の方が、一緒になってのグループワークだったため、お互い、世代による考え方、感じ方の違いが刺激になったようだ。



世代間の違いが盛り上がった、ワークショップの様子

最後に、渋谷さんは、社会を動かすあり方として、「審議会委員となり政策を提案する」「継続的にボランティア活動へ参加する」ような直接的なことでも、「知多市のホームページを閲覧する」「Facebookに『いいね!』をする」ような間接的なことでも、まずは、自分の興味のあることから行動することが大切だと話された。（早川）

（※1）「ちた未来塾」とは
知多市若者チャレンジ支援事業で、若者のいろいろなチャレンジを応援する。フィールドワークでの体験や、塾生の仲間・サポーターと語り合いながら、未来を描くための「考える種」を見つける。

■2021年度愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業
毎月「通いの場」をハイブリッドにて開催

2019年度から、愛知県より受託し、3カ年計画でスタートした「高齢者地域コミュニティ参加促進事業」。「通いの場（※2）」が抱える「男性の参加が進まない」、「利用者の固定化」などの課題解決をめざし、事業の効果などを参加者のアンケートをまとめ、県内から集まった結果を県が集約して、効果的な通いの場の提案を各市町村へ普及することを目的としている。

今年度の「通いの場」は、オンラインを活用した通いの場づくりを目的として、知多市市民活動センターを拠点に開催している。6月に開催した、オンライン講演会「老いから学ぶ」以降も、7月29日、筆を使って、楽しい文字をはがきに描く「喜楽de書体験講座」、8月17日、アロマと認知症予防の関係を学ぶ「認知症とアロマセラピー」、9月16日、介護に役立つ知識を学ぶ「はじめての介護講座」、10月8日、新たにオンラインに挑戦する人向けの初心者講座「はじめての介護講座」を配信の様子



「喜楽de書体験講座」オンライン配信の様子

「Zoomをつかってみよう」と、月に1回、イベントを実施。多様な企画を実施し、高齢者だけでなく多世代交流の場として、参加者の幅を広げることをめざしている。また、6月のオンライン講演会で、サテライト会場として参加した市内にある通いの場「つつじが丘3ハウス」、「南粕谷地区」へ引き続き講座をオンライン配信し、市民活動センターをメイン会場として、ハイブリッドで開催した。

会場の参加者からは、「自分達の地域でも企画してみたい」、また地域の通いの場の参加者からは、「自分達の通いの場（徒歩圏内）でイベントに参加できるのが良い」、などの声があった。

今後のイベントは、10月15日（金）に、知多市内で里山保全活動を行う山法師の会より、四季折々の記録写真を通じて、その活動をうかがう「知多の里山を語る」、11月28日（日）に、「尾張万歳を体験しよう!」を実施する予定。（安藤）

（※2）「通いの場」とは
介護予防を推進するため、様々な活動を通じて仲間と楽しんだりリフレッシュしたりと、日々の生活に活気を取り入れてもらうために地域の高齢者が集う場のこと。

■知多市市民活動センター 第1回waiwai交流会 「市民活動センターを利用しているときに 地震が起こったら、あなたはどうする？」

8月24日、知多市市民活動センターの入居・登録団体や、市民の交流を目的とした「2021年度第1回 waiwai 交流会」にて、「体験型防災セミナー」を開催した。講師は、防災士の椿佳代さん。



講師の椿佳代さん

日本は、自然災害の多い国である。水害のニュースを耳にする機会も多く、近い将来、想定される大規模地震も複数ある。講演の中から、ポイントとなることを紹介する。

●今から考えておきたい避難

大雨が予想される地域では、「早めの避難」を心がける。ただし、大雨が降ってから、避難先を避難方法を考えたのでは間に合わないので、あらかじめ、ハザードマップなどで、自宅周辺のリスクを把握し、避難先や避難方法を考えておくことが大切。また、最近では、避難所などで人が密集すると、新型コロナウイルスに感染する心配もあるので、頼れる知人や親せきを探しておくなど、今からできる備えを進める。

●非常食の新規開拓

非常食は、普段の食べ物、普段のメニューを。非常持出袋には、おいしいおかゆやおじやを入れておく。非常食にも消費期限があるので、ローリングストックで、常に一定数の在庫を確保しておく必要があるが、消費期限が近づいてきたときに、きちんと食べて消費するためには、おいしいものを入れておくことが大切である。普段食べ慣れないものだと、なかなか手が出ず、廃棄ということになりかねない。そのためには、家にあるもので、非常食になりうるもの、3R8Kを活用する。3Rは、冷蔵庫、冷凍庫、レトルト食品。8Kは、お米、缶詰、乾物、乾めん、カップめん、氷砂糖、お菓子、乾パン。

●市民活動センターとしてできること

センターに置いてある、避難用ヘルメット。すぐに被れるように、あごのフックは外した状態にしておく。ヘルメット内の上部に空間があるので、そこ



「センターで被災したら？」を考えるワークショップの様子

に、ポリエチレン袋に入れた軍手、マスク、大きなハンカチ、大きな絆創膏、500円玉を入れておくと、避難後、便利。

また、センターの入居・登録団体

が参加者なので、「センターにいるときに被災したら、自分は何をしなければいけないか、何ができるか」を考え、みんなで共有するワークショップをおこなった。その内容を生かし、身の安全確保のあとの、チェックリストを作り、災害が起こっても、想定よりも被害を低く抑えられるように、事前に備えておくことが重要であるとのことだった。

椿さんは、今回のセミナーを「『勉強になった』と終わらせるのではなく、行動につなげてほしい」と話していた。（早川）

■第2回「あいちの伝統野菜を学ぼう！」

8月29日、第2回「あいちの伝統野菜を学ぼう！」を開催した。これは、あいちの伝統野菜の啓発に努めている、あいち在来種保存会の代表世話人である高木幹夫さんを講師に、当法人が運営している、手づくりカフェAda-codaの、登録シェフの交流や勉強の機会となること、また、「食」を通じて活動をしている人を対象に、Ada-codaに興味を持ってもらい、将来、登録シェフとして活動するきっかけとなることを目的として、開催している。



今回学んだ、秋の伝統野菜

第1回は3月に開催し、「愛知早生ふき」や「正月菜」を中心に、春の伝統野菜を学んだ。第2回は、「八名丸さといも」や「早生とうがん」、「愛知縮緬かぼちゃ」などの、秋の伝統野菜。

伝統野菜は、その土地で引き継がれてきた種を使い、その土地の気候に合わせて栽培される。栽培に手間ひまもかかり、調理時に下処理が必要な野菜も多いが、高木さんは、その魅力を「野菜が本来持っている味が濃厚で、栄養分も豊富。その季節にならないと食べられないので、『旬』を楽しむことができる」と語り、その文化や種を伝承していきたいと活動している。

後半では、普段からお店で伝統野菜を使ったお料理を提供している、



日本料理「一灯」の店主、長田勇久（おさだはやひさ）さんによる、秋の伝統野菜を使った調理実演を行った。プロの調理の技や、伝統野菜の下処理のコツ、品種にあった調理法を学んだ。

伝統野菜と八丁味噌などの地元食材を使ったメニュー

2022年3月頃、第3回の開催を予定している。（安藤、幸前）

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せください。

■2021年度愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業 オンライン講演会

「知多の里山を語る～写真で巡る知多の風景～」

20年以上に渡り、大興寺を中心に、里山保全活動を続けている「山法師の会」。四季折々の写真を通じて、その活動を語る。



〈日時〉10月15日(金)
14:00～15:00

〈場所〉知多市市民活動センター 会議室(メイン会場)
知多市内サロン3カ所、オンライン(Zoom)

〈語り手〉山法師の会

〈対象〉関心のある方ならどなたでも

〈メイン会場の定員〉20名(無料・要申込)

〈その他〉Zoom初心者向けの事前交流会あり(要問合)

〈問合・申込〉(N)地域福祉サポートちた(担当:安藤)

☎0562-33-1631 FAX0562-33-1743

メール spchita@ams.odn.ne.jp

■2021年度愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業 「尾張万歳を体験しよう！」

古来より、お正月や長寿を祝う尾張万歳は、国指定重要指定無形文化財にも認定されている。伝統文化を継承し、活動する尾張万歳保存会より、多世代で楽しめる尾張万歳の魅力を体験する。



〈日時〉11月28日(日) 10:00～11:00

〈場所〉知多市市民活動センター

〈講師〉尾張万歳保存会

〈対象〉関心のある方ならどなたでも

〈定員〉20名(無料・要申込)

〈問合・申込〉(N)地域福祉サポートちた(担当:安藤)

☎0562-33-1631 FAX0562-33-1743

メール spchita@ams.odn.ne.jp

■知多市若者チャレンジ支援事業 ちた未来塾 「2021年度ちた未来塾 報告会」

今年度のちた未来塾は、三重県いなべ市と交流を持ち、まちづくりや広報を学んだ。その中で、人に「伝わる」ことを考え、広報づくりにチャレンジした。広報の発表や活動報告を行う。

〈日時〉12月18日(土) 10:00～11:30

〈場所〉知多市市民活動センター

〈塾長〉吉村輝彦氏(日本福祉大学)

〈アドバイザー〉渋谷典子氏((N)参画プラネット)

〈対象〉関心のある方ならどなたでも

〈参加費〉無料(要申込)

〈問合・申込〉(N)地域福祉サポートちた(担当:市野・早川)

☎0562-33-1631 FAX0562-33-1743

メール spchita@ams.odn.ne.jp

■放課後等デイサービス 心身育成型ふいっとくる 「パート・アルバイトスタッフ募集」

放課後等デイサービス、心身育成型ふいっとくるでは、スタッフを募集している。発達に凸凹のあるお子様(小1～高3)の療育教室。運動を中心としたプログラムで、幼児までに身につけたい運動、小学校体育の基礎的な運動、目のトレーニングなどを通して社会性やコミュニケーション力を伸ばす。

〈業務内容〉支援員としての療育活動、教材準備、保護者への引継ぎ等

〈対象〉次のいずれかの資格をお持ちの方。社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、教員、臨床心理士、公認心理師、障害児支援に2年以上携わった経験

〈時間〉①13:30～20:30の間、②9:00～18:00

※曜日によって異なるため、詳細は問い合わせ

〈時給〉980円～

〈勤務場所〉(N)くるくる 刈谷高倉センターⅡ

刈谷市高倉町1-212

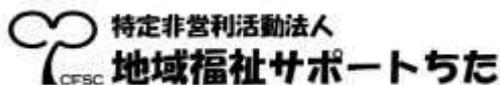
〈その他〉・未経験、運動経験なしでも可能

・プログラムに沿って授業ができるよう教育あり

・ワーク、副業、可能

・見学可能

〈問合〉(N)くるくる(担当:成田) ☎0566-28-7496



〒478-0047 愛知県知多市緑町12-1
知多市市民活動センター1階
TEL 0562-33-1631 FAX 0562-33-1743
メール spchita@ams.odn.ne.jp



◆地域福祉サポートちた

HP: cfsc.sunnyday.jp/

FB: facebook.com/sapochita/

◆手づくりカフェAda-coda

HP: cfsc.sunnyday.jp/01-adacoda/

FB: facebook.com/Adacoda.cafe/